



MULTI SIGNAL CAT5 MATRIX SWITCHER

KE802CT

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

Ver 1.1

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意（警告を含む）
が必要なことを示す記号



一般的注意



手をはさまれる



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



⚠ 注意

次のような場所には置かない

- 火災や感電の原因となることがあります。
- ・湿気やほこりの多いところ。
 - ・油煙や湯気の当たるところ。
 - ・熱器具の近くなど。
 - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。



他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。



通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



本製品の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。



お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



目次

1. はじめに	1
1-1. はじめに	1
1-2. 本製品および付属品について	1
1-3. 出荷時の設定	2
2. 製品概要	4
3. 各部の名称と機能	5
3-1. 前面パネル	5
3-2. 背面パネル	7
4. 操作方法	9
4-1. クロスポイント操作	9
4-2. オプションボタンの操作	10
4-3. その他の特殊操作ボタン	11
4-4. 音声ボリューム操作	13
4-5. 設定のリセット	18
5. DIPスイッチの設定	19
5-1. DIPスイッチ M.SW1, M.SW2	19
5-2. 底面DIPスイッチ	22
6. シリアル外部制御	23
6-1. シリアルインターフェースの設定	23
6-2. ケーブル結線	24
6-3. クロスポイント操作	25
6-4. オプションボタンの操作	27
6-5. セーブ・ロード操作	28
6-6. 音声ボリューム操作	29
6-7. 状態読出しコマンド	31
6-8. IP設定コマンド	34
6-9. ビジーアンサー	36
7. パラレル外部制御	37
7-1. ピンアサイン	37
7-2. コネクタピン配置	38
7-3. 使用方法	38
8. LANによる外部制御	39
8-1. 特徴	39
8-2. コネクタ部LED	39
8-3. ケーブル結線	39
8-4. IPアドレス、TCP/IPポート、MACアドレス	40
8-5. TCP/IP接続による外部制御	41
8-6. WEB運用画面の表示	42
8-7. WEB設定画面の表示	44
9. 主な仕様	48



1. はじめに

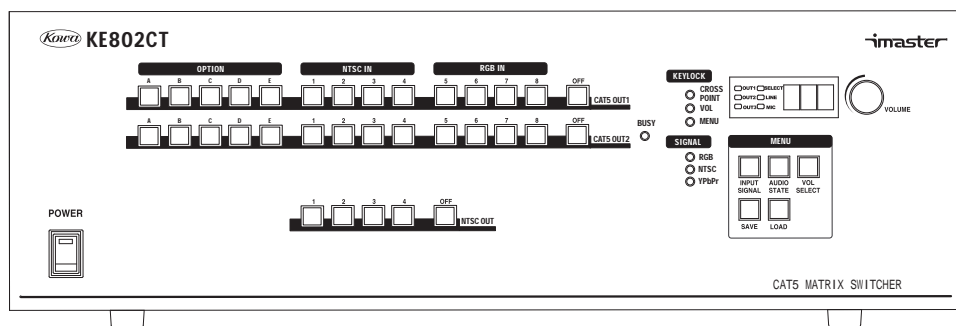
1 - 1. はじめに

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

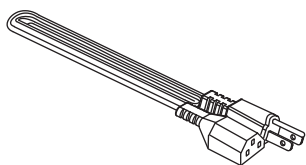
お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みにになり、本製品に関してご理解いただいた上でお使いください。

1 - 2. 本製品および付属品について

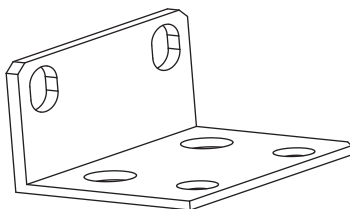
本製品および付属品が入っていることをご確認ください。



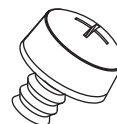
KE802CT本体



ACケーブル



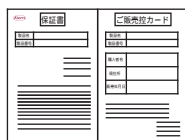
ラックマウント金具 (2個)



マウント用ビス (4個)



皿ビス (4個)



保証書



取扱説明書
(本冊子)

1 - 3 . 出荷時の設定

本製品は出荷時、以下の設定になっております。

・クロスポイント

映像/音声共に、

OUT1	IN1
OUT2	IN1
モニター出力	IN1

・クロスポイントメモリー内容

全メモリーにおいて映像/音声共に、

OUT1	IN1
OUT2	IN1
モニター出力	IN1

・音声ボリューム関連

入力部ボリューム値

すべての入力(IN1~8、OFF)において、

セレクト音声	±0dB
ライン音声	±0dB
マイク音声1,2	MUTE

出力部ボリューム値

すべての出力(OUT1,2)において、

セレクト音声	±0dB
ライン音声	±0dB
マイク音声1,2	±0dB

ボリューム表示 出力部ボリューム-OUT1-セレクト音声を表示

・WEB運用画面設定値

システム名	KE802CT
OUT1接続機器名	出力1
OUT2接続機器名	出力2
NTSC出力接続機器名	NTSC出力
IN1~8入力名	入力1~8
画面表示	すべて表示
自動更新	自動更新なし
コメント	コメントを入力してください
IPアドレス	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
TCP/IPポート	49152

・入力信号種類

IN1 ~ 4	NTSC - コンポジット信号 (変更不可)
IN5 ~ 8	アナログRGB信号/NTSC - コンポジット信号/コンポーネント信号

・DIPスイッチ M.SW1

通信速度	9600bps
起動後のクロスポイント設定	電源遮断時のクロスポイント状態で起動
WEB運用画面アクセス認証設定	アクセス認証有効

・DIPスイッチ M.SW2

メニューキーロック	キーロック無効
ボリュームキーロック	キーロック無効
クロスポイントキーロック	キーロック無効
ボリューム押下操作キーロック	キーロック無効
出力部ボリューム連動設定	SELECT、LINE、MICを連動設定
オプションキーロック	キーロック無効
出力部ボリューム表示設定	デシベル表示

・各パスワード

WEB運用画面パスワード	KE802CT
WEB設定画面パスワード	KE802CT
TCP/IPログインパスワード	KE802CT

2. 製品概要

本製品は、マルチシグナルCAT5マトリックススイッチャーです。NTSC - コンポジット信号、コンポーネント信号、そしてアナログRGB信号の3種類の入力信号を、ツイストペアケーブルにて伝送でき、AVシステムの構成を容易にすることが可能です。

本製品は、NTSC - コンポジット信号専用入力4系統、アナログRGB信号/ NTSC - コンポジット信号兼用入力4系統の、計8系統の映像信号を入力でき、CAT5出力2系統、NTSC信号出力2系統、RGB信号出力2系統、モニター用NTSC信号出力1系統の、計7系統の映像出力に切り替えて出力することが可能です。

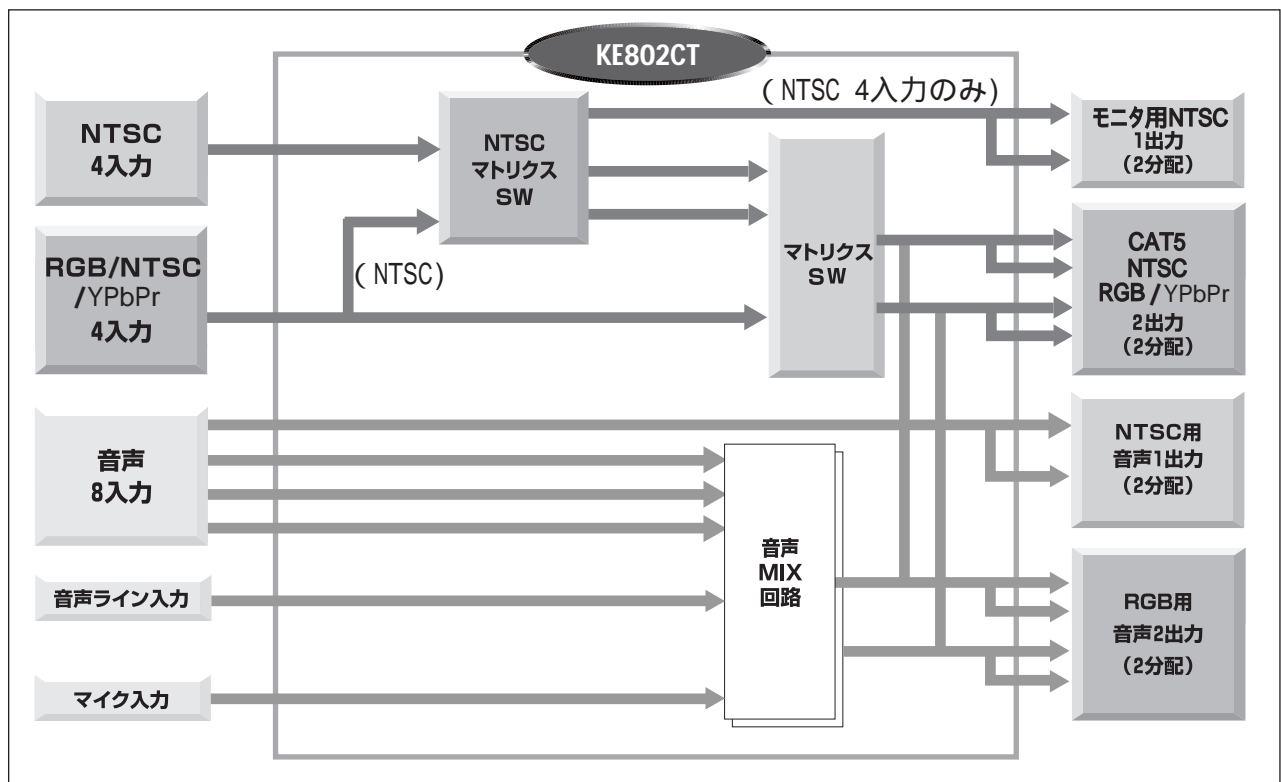
また、上記映像入力と連動したステレオアンバランス入力8系統、ライン入力用のステレオアンバランス入力1系統、マイク用のモノラルバランス入力2系統を入力でき、2系統のステレオアンバランス音声出力、1系統のモニター用ステレオアンバランス出力、そして2系統のCAT5出力の合わせて計5系統の音声出力に映像と連動して切り替えて出力することが可能です。

音声回路部にはオーディオミックス回路を内蔵しており、8系統の入力より選択した音声入力と、ライン入力用音声入力および2系統のマイク入力をミックスして2系統のステレオアンバランス音声出力に出力することが可能です。さらに本製品は音声ボリューム調整回路を内蔵しているため、それぞれの音声入力、また切り替えたあとの音声出力の音声ボリュームを調整することが可能です。

本製品のクロスポイント操作ボタンとオプションボタンにはRS232Cコマンドが登録できます。これらのボタンを押下することでRS232Cコマンドを出力でき、CAT5受信器に接続されたPDPやプロジェクターといった機器を制御することができます。

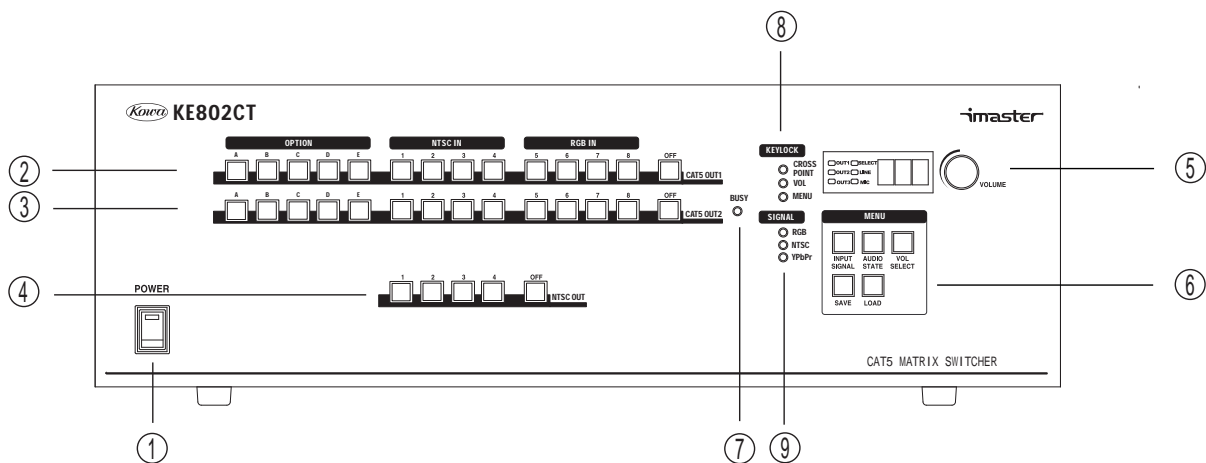
本製品は、フロントパネル、パラレルリモート、RS232C、RS422A、LANにより制御が可能です。LANによる制御では、WEB運用画面を用いて制御することが可能になっており、さらにWEBブラウザに表示されるボタン名等をカスタマイズすることが可能です。

本製品はPAL、SECAMには対応していません。



3 . 各部の機能と名称

3 - 1 . 前面パネル



電源スイッチ

付属の電源コードを接続した後、このスイッチをオンすることにより電源が入ります。通電中は電源スイッチの緑ランプが点灯します。

なお、オン直後のオプションスイッチの設定を行うことができます。詳しくは、"4 - 2 . オプションボタン操作"を参照してください。

本製品は電源投入後から、正常起動するまで一定時間を要します。また、この間はすべての操作を受け付けませんので、AVシステム設計において考慮する必要があります。起動中は リモートビジーLEDが点灯します。

OUT1選択ボタン

OUT1にどの入力映像・音声を出力するかを選択するボタンです。OFFを選択した場合は何も出力されません。また、クロスポイントの状態を記憶するためのメモリナンバーを選択するボタン、入力信号切替時に入力を選択するボタン、入力部ボリューム設定時に入力を選択するボタンも兼ねています。

OUT2選択ボタン

OUT2にどの入力映像・音声を出力するかを選択するボタンです。OFFを選択した場合は何も出力されません。

IN5 ~ 8はアナログRGB信号のかわりにNTSC - コンポジット信号あるいはコンポーネント信号を入力し、INPUT SIGNALボタンを切り替えることで、出力することが可能です。

(詳しくは、"4 - 3 . その他の特殊操作ボタン"を参照してください。)

またIN5 ~ 8に入力したNTSC - コンポジット映像信号はモニター用NTSC信号出力には出力できません。

モニター用NTSC信号出力選択ボタン

モニター用信号出力にどの入力映像・音声を出力するかを選択するボタンです。OFFを選択した場合は何も出力されません。

モニター用NTSC信号出力はIN1～4に入力されたNTSC - コンポジット映像のみ出力可能です。

モニター用音声信号出力はIN1～8に入力された音声入力を出力可能です。IN5～8に入力された音声を出力する場合は、シリアル、LAN経由で操作を行う必要があります。

モニター用音声信号出力にはミキシング及びボリューム調整機能はありません。

音声ボリューム調整部

入力される音声のボリューム調整を行うことができます。
詳しくは、"4 - 4. 音声ボリューム操作"を参照してください。

特殊操作ボタン

クロスポイントの保存/読出、音声選択状態表示等を行うボタン群です。
詳しくは、"4 - 3. その他の特殊操作ボタン"を参照してください。

リモートビジーLED

RS232C、RS422A、LANからの制御信号を処理しているときに点灯します。
また、電源投入後、正常起動するまでの操作を受け付けない時間中も点灯します。

有効でないコマンドを受け取った場合は、リモートビジーLEDは点灯しません。

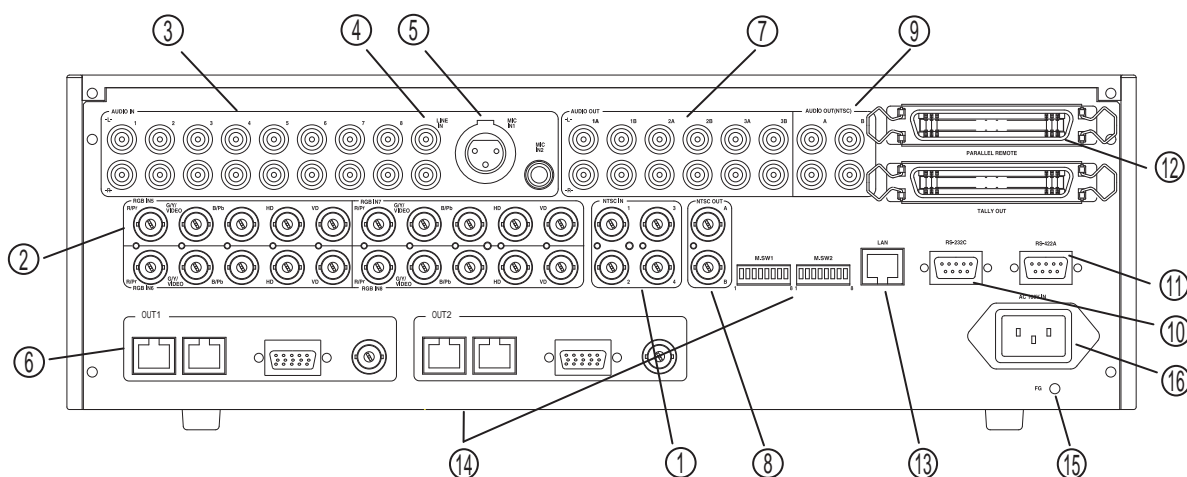
キーロック表示LED

キーロックの状態を表示します。詳しくは、"5 .DIPスイッチの設定"を参照してください。
オプションボタン及びボリュームボタン押し込みキーロック表示LEDはありません。ご注意ください。

入力映像信号表示LED

OUT1で選択されている入力チャンネルの映像信号の種類を表示します。
詳しくは、"4 - 3. その他の特殊操作ボタン"を参照してください。

3 - 2 . 背面パネル



NTSC - コンポジット映像信号入力コネクタ (BNC)

IN1 ~ 4はNTSC - コンポジット映像信号を入力するコネクタです。

アナログRGB信号/NTSC - コンポジット信号/コンポーネント信号入力コネクタ (BNC)

IN5 ~ 8はアナログRGB信号かNTSC - コンポジット信号、コンポーネント信号を入力するコネクタです。

- ・ NTSC - コンポジット信号 : "G/Y/VIDEO"と記されたコネクタに接続してください。
- ・ アナログRGB信号 : 背面の表記に従い、R、G、B、HD、VDの各コネクタに接続してください。
- ・ コンポーネント (Y、Pb、Pr) の信号を切り替えたい場合は、入力信号の設定をY/Pb/Prに設定し、R、G、Bのコネクタに接続してください。

出力するには別途INPUT SIGNALボタンを切り替える必要があります。

(詳しくは"4 - 3 . その他の特殊操作ボタン"を参照してください。)

音声入力コネクタ (RCAピンジャック)

8系統のステレオアンバランス音声の入力コネクタです。

上記、の映像入力と同期した音声を入力します。

ライン音声入力コネクタ (RCAピンジャック)

1系統のステレオアンバランス音声の入力コネクタです。

マイク用モノラルバランス音声入力コネクタ (XLR - 3 - 31、6.3mmTRSフォンジャック)

2系統のマイク用モノラルバランス音声の入力コネクタです。

本製品はマイク部にハウリング除去機能を内蔵しておりません。

システム構成によっては別途ハウリング除去器を挿入する必要があります。

CAT5 & 映像出力用コネクタ (RJ-45、高密度Dsub15ピン、BNC)

OUT1、2で選択された入力信号を出力します。

CAT5出力コネクタとの接続には専用CAT5受信器(KE 0101CR2, KE 0101CR-BF, KE 101CR-BX)をご使用ください。映像出力用コネクタの高密度Dsub15ピンからはアナログRGB信号とコンポーネント信号、BNCコネクタからはNTSC - コンポジット信号を出力します。

なお、CAT5出力用コネクタは2分配となっています。

⚠ 注意! 当社専用CAT5受信器以外の機器と接続しないでください。故障の原因となります。

音声出力コネクタ(RCAピンジャック)

ステレオアンバランス音声の出力コネクタです。 の音声入力から1系統選択し、 、 の音声入力をミックスして出力します。また、出力する音声のボリューム調整を行うことが可能です。

詳しくは" 4 - 4 . 音声ボリューム操作"、" 6 - 6 . 音声ボリューム操作"を参照してください。出力は2分配されております。

モニター用NTSC信号出力コネクタ(BNC)

モニター用のNTSC信号出力コネクタです。 に入力された映像信号を出力します。出力は2分配されております。

モニター用音声出力コネクタ(RCAピンジャック)

モニター用の音声出力コネクタです。 IN 1 ~ 8に入力された音声信号を出力します。出力は2分配されております。

モニター用音声出力にはミックス / ボリューム調整機能はありません。

に入力された音声信号をそのまま出力します。

IN5 ~ 8に入力された音声信号を出力する場合は、シリアル、またはLANによる制御を行う必要があります。

RS232Cコネクタ(DSUB9ピン インチネジ オス)

RS232Cにより外部制御を行う際に使用します。

RS422Aコネクタ(DSUB9ピン インチネジ メス)

RS422Aにより外部制御を行う際に使用します。

パラレルリモートコネクタ(アンフェノール50P メス ×2)

リレー、スイッチなどによるリモートコントロール入力、また、LEDなどへのリモート出力を行うためのコネクタです。

LAN制御用コネクタ(RJ - 45)

LAN経由で本製品を制御するためのコネクタです。
詳しくは" 8 . LANによる外部制御"を参照してください。

 **注意!** ネットワーク機器以外とは接続しないでください。故障の原因となります。

制御DIPスイッチ(背面、底面)

本体の設定を変更するためのDIPスイッチです。
詳しくは" 5 . DIPスイッチの設定"を参照してください。

アース端子

屋内のアース端子と接続するために使用します。

電源コード接続部

付属の電源コードでAC100Vに接続します。

4 . 操作方法

4 - 1 . クロスポイント操作

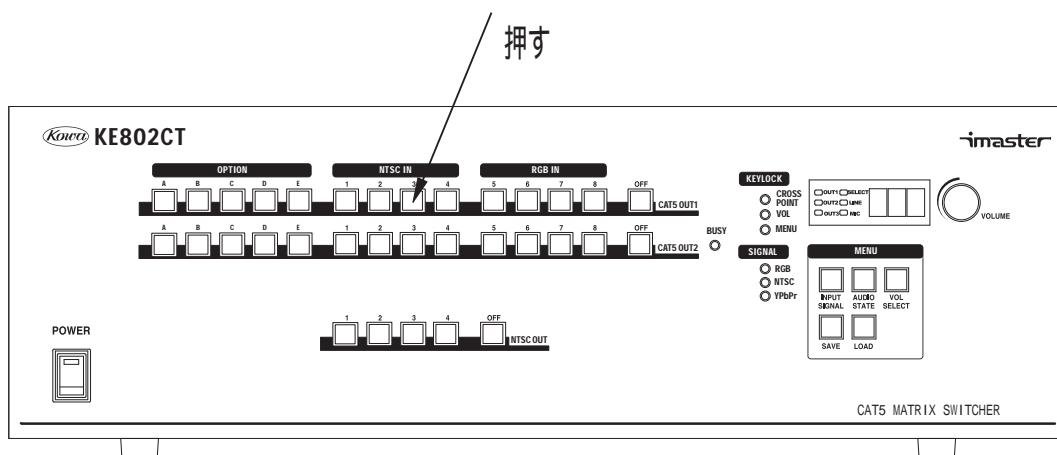
前面パネルにならんだクロスポイント操作ボタンを操作して、OUT1、2、モニターのそれぞれに出力する映像・音声信号を選択します。選択された入力のボタンが点灯します。

クロスポイント操作ボタンにRS232Cコマンドが登録されている場合には、ボタンを押下することでOUT1、2のCAT5からコマンドを出力します。コマンド送信中などの処理中はボタンが点滅します。

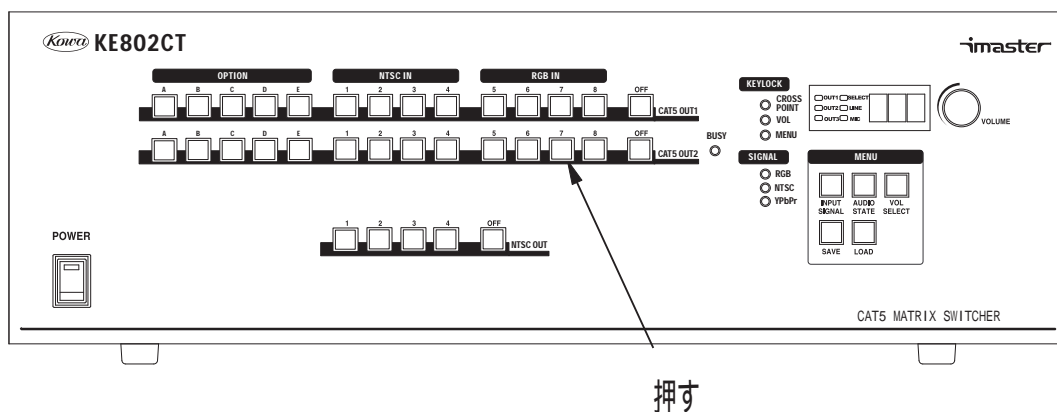
コマンドは予め当社専用コマンド登録ソフトにて登録する必要があります。

例

IN3をOUT1に出力する。IN3に登録したコマンドをOUT1に出力する。



IN7をOUT2に出力する。IN7に登録したコマンドをOUT2に出力する。



4 - 2 .OPTIONボタン

前面パネルにならんだOPTIONボタンを操作して、OUT1、2のそれぞれに登録したRS232C
コマンドを出力することが可能です。

各オプションボタンは、オルタネート或いはモーメンタリーの設定が可能です。

オルタネート時には、点灯時、消灯時それぞれ別のコマンドを出力できます。モーメンタリー
時には、点灯時のみのコマンドを出力します。

また、電源立ち上げ時の動作の設定を行うことができます。例えば、電源スイッチオン OUT1
OPTION_Aオン&コマンド出力 OPTION_Bオフ&コマンド出力なし、等の設定が可能です。
点灯の順番は、OUT1 OPTION_A … OUT1 OPTION_E、OUT2 OPTION_A … OUT2 OPTION_Eです。

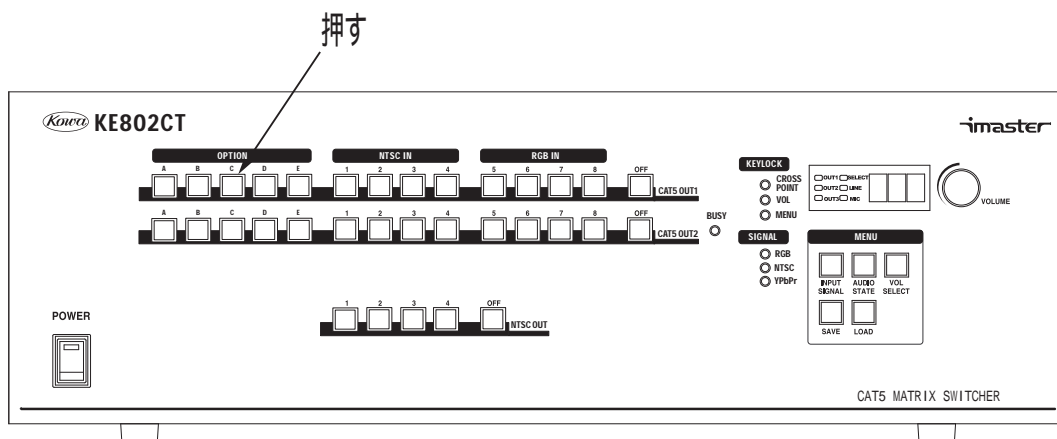
コマンド登録、オルタネート・モーメンタリー設定、電源立ち上げ時のOPTIONボタン動作の
変更を行いたい場合は、当社専用コマンド登録ソフトにて登録する必要があります。

なお、初期設定は下記のようになっております。

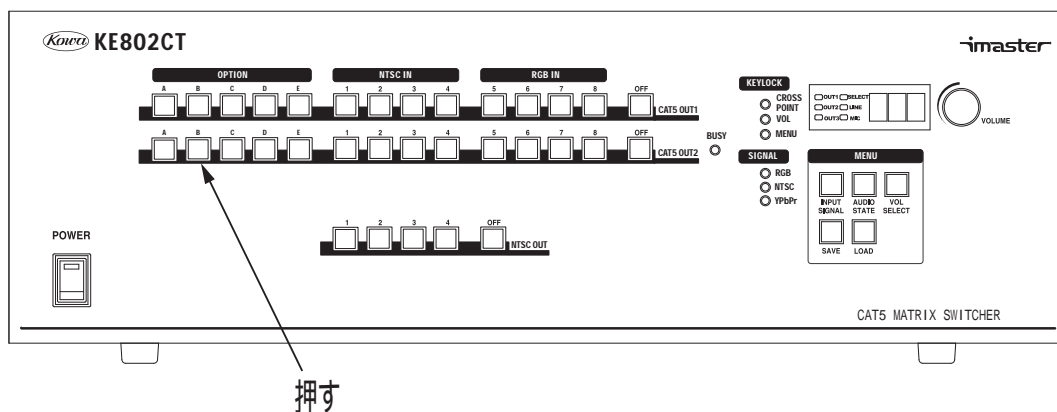
- ・オルタネート・モーメンタリーの設定 オルタネート
- ・電源立ち上げ時のOPTIONボタン動作 全てのOPTIONボタン消灯、コマンド出力無し

例

OUT1にオプションCに登録されているコマンドを出力する。



OUT2にオプションBに登録されているコマンドを出力する。



4 - 3 .その他の特殊操作ボタン

・セーブ(SAVE)

本製品はクロスポイントの状態を8パターンまで内部に保存でき、読み出すことが可能です。

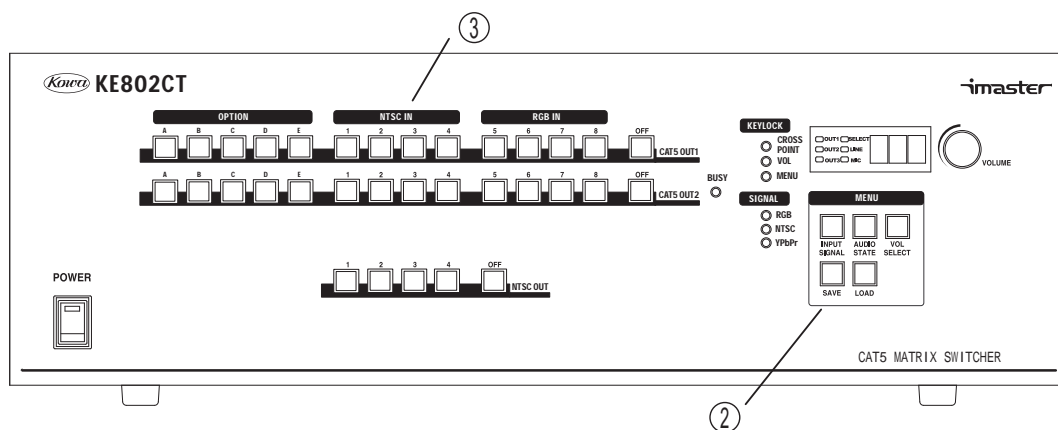
例 メモリ2にクロスポイントをセーブする

セーブを行いたいクロスポイントに本製品を設定します。

クロスポイントの選択に関しては、" 4 - 1 .クロスポイント操作"を参照してください。

セーブボタンを押します。(OUT1選択ボタンのIN1~8がすべて点灯します。)

OUT1選択ボタン NTSC IN2 (メモリ2) を押します。



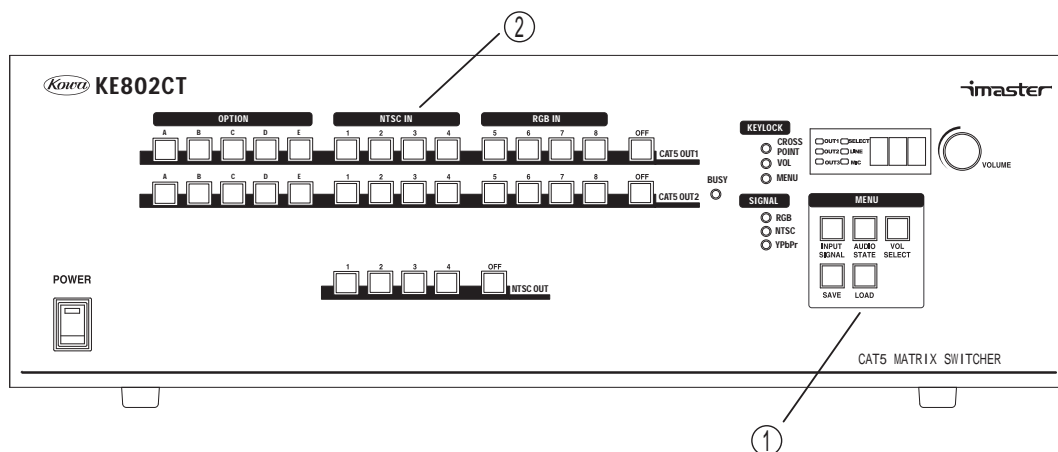
・ロード(LOAD)

本製品の内部に保存したクロスポイントの状態を、読み出すことが可能です。

例 メモリ3に保存されたクロスポイントを読み出す。

ロードボタンを押します。(OUT1選択ボタンのIN1~8がすべて点灯します。)

OUT1選択ボタン NTSC IN3 (メモリ3) を押します。



・音声状態表示(AUDIO STATE)

このボタンを押している間、通常映像のクロスポイントの状態を表示しているクロスポイント切替ボタンLEDが、音声のクロスポイントの状態表示に切り替わります。シリアル、TCP/IP制御で音声のみクロスポイントを切り替えた場合にお使いください。

音声状態表示ボタンを押している間はフロントパネルのすべてのボタンにキーロックがかかりますので、フロントパネルの操作を行うことはできませんが、パラレル、シリアルからの外部制御は可能です。

セーブ・ロードボタン点灯中は音声状態表示ボタンを使用することはできません。

パラレル外部制御のタリーアウトは音声状態表示ボタンの影響を受けません。常に映像のクロスポイントの状態を出力します。また音声状態表示時は、パラレル外部制御のSAVE、LOADは使用できません。

・入力信号切替(INPUT SIGNAL)

IN5～8に入力される映像信号設定を切り替えることができます。OUT1において、映像信号の入力(IN5～8)を選択し、入力信号切替ボタンを押下すると、押下する毎にアナログRGB、NTSC - コンポジット、コンポーネントの間で映像信号の種類が切り替わります。現在選択されている入力信号は、入力映像信号表示LEDに表示します。

入力信号の設定をNTSC - コンポジットにすると、G/Y/VIDEOのBNCコネクタに入力されたNTSC - コンポジット映像信号をCAT5、NTSC出力用BNCコネクタに出力します。

入力信号の設定をRGBにすると、入力されたアナログRGB信号をCAT5、RGB出力用Dsub15ピンに出力します。

ハイビジョン(Y、Pb、Pr)の信号を切り替えたい場合は、入力信号の設定をY/Pb/Prにし、R、G、Bのコネクタに接続してください。CAT5、RGB出力用Dsub15ピンより出力します。

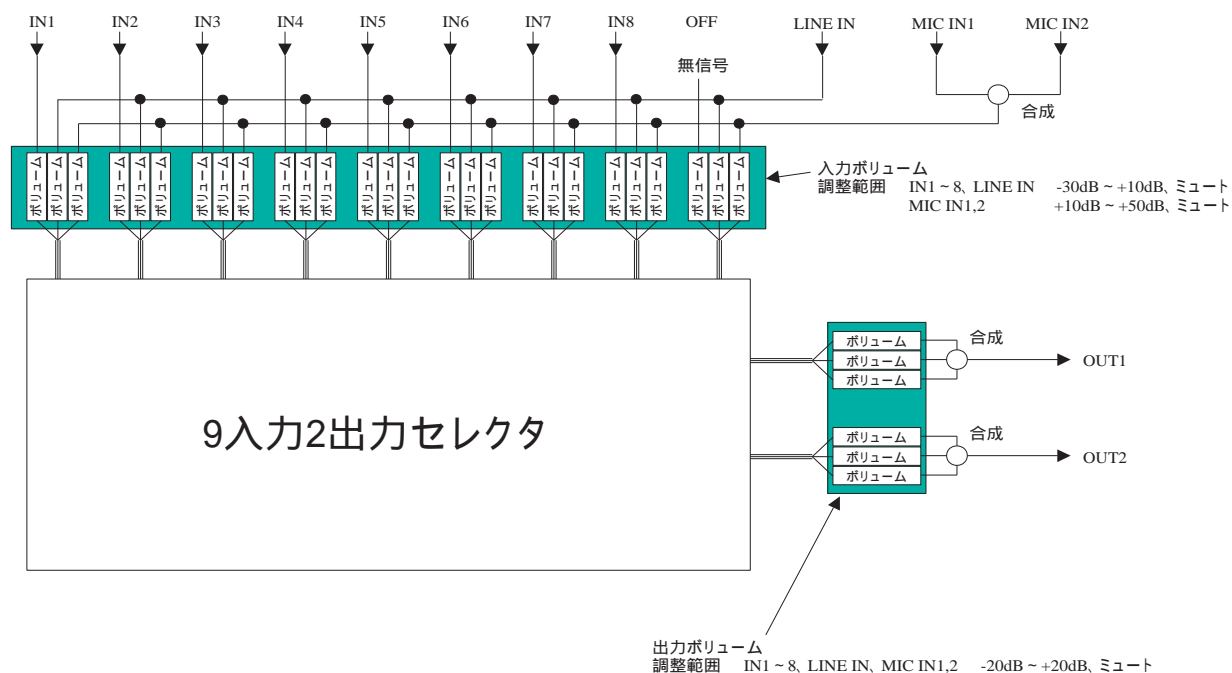
・音声ボリューム操作切替(VOL SELECT)

音声ボリューム操作部の表示と操作を行う音声ボリュームを変更します。詳しくは"4 - 4 . 音声ボリューム操作"を参照してください。

4 - 4 .音声ボリューム操作

本製品は、音声回路部にオーディオミックス回路を内蔵しており、8系統の入力より選択した音声入力と、ライン入力用音声入力及び2系統のマイク入力をミックスして2系統のステレオアンバランス音声出力に出力することが可能です。さらにボリューム調整回路を内蔵しているため、音声ボリュームの調整をすることが可能です。

本製品の音声切替部の構成図は下図のようになっております。



入力部分と出力部分にそれぞれボリューム調整部があります。入力部のボリュームは主にシステムセットアップ時に使用し、各入力の音声レベルの統一などに使用できます。出力部のボリュームは主にシステム運用時のボリューム調整に使用できます。

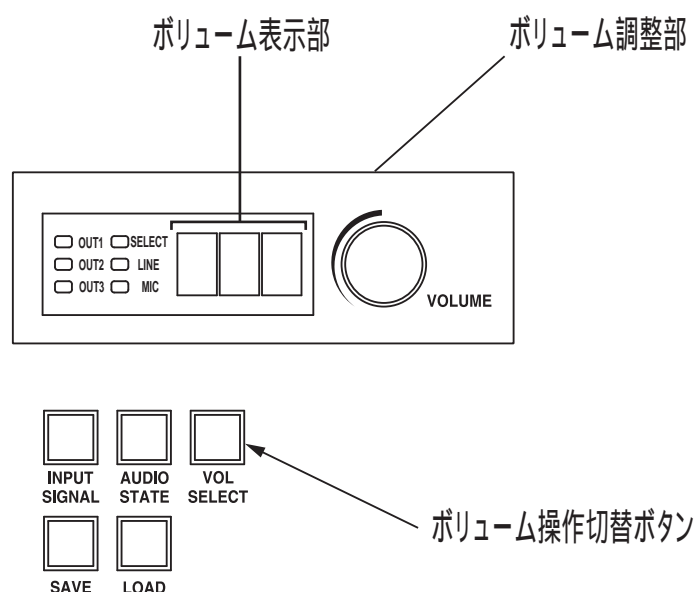
音声ボリュームは、フロントパネル、RS232C、RS422A、LANより制御が可能です。

RS232C、RS422A、LANでの制御に関しては、" 6 .シリアル外部制御"、" 8 .LANによる外部制御"を参照してください。

本製品はマイク部にハウリング除去機能を内蔵しておりません。
システム構成によっては別途ハウリング除去器を挿入する必要があります。

マイク入力1、2は1つの音声ボリュームで同時に制御を行います。
個別にボリューム調整することはできません。

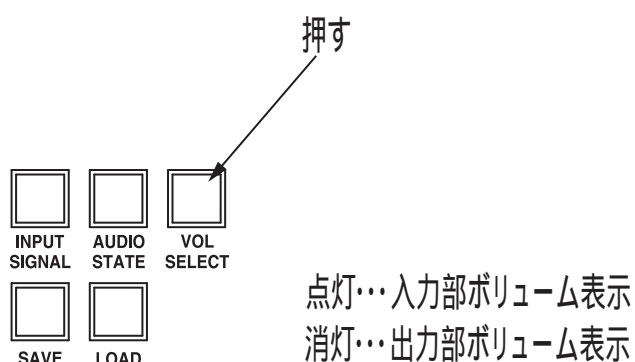
フロントパネルより音声のボリューム操作を行う場合、ボリューム調整部および、ボリューム操作切替ボタンを使用します。



・出力部/入力部のボリューム切替

フロントパネルのボリューム調整部は、常に入力部/出力部のどちらかのボリュームの状態を表示しています。ボリュームの表示を切り替えるには、ボリューム操作切替ボタンを使用します。

ボリューム操作切替ボタンを押下する毎にボタンが点灯/消灯を交互に繰り返します。ボタンが消灯すると出力部ボリュームを表示し、点灯すると入力部ボリュームを表示します。



・入力部ボリュームの調整

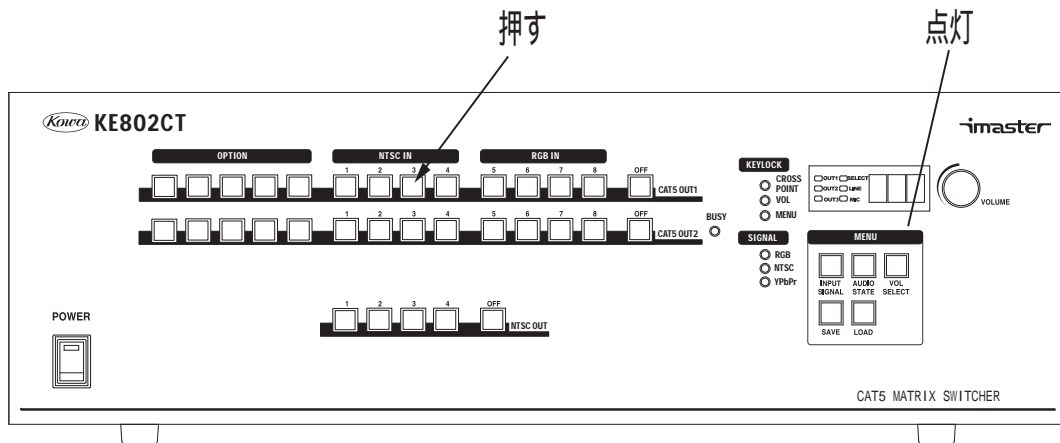
入力部ボリュームの調整は以下の手順で行います。

ボリューム操作切替ボタンを点灯状態にしてください。(入力部ボリューム表示)

調整を行う入力チャンネルの選択

入力部ボリューム調整はOUT1系統で選択された入力チャンネルに対して行われます。
調整を行いたい入力チャンネルをOUT1系統にて選択してください。

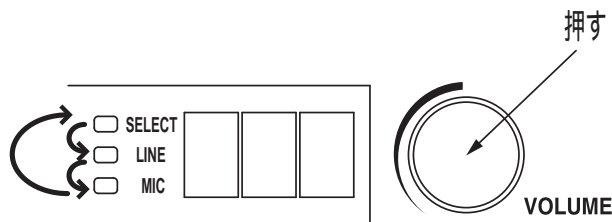
例 IN3の入力部ボリュームを操作したい場合



セレクト音声、ライン音声、マイク音声の選択

次にボリューム調整を行う音声入力の選択を行います。

ボリューム調整つまみを押すと、下図に示すLEDが順に点灯し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声を選択することができます。



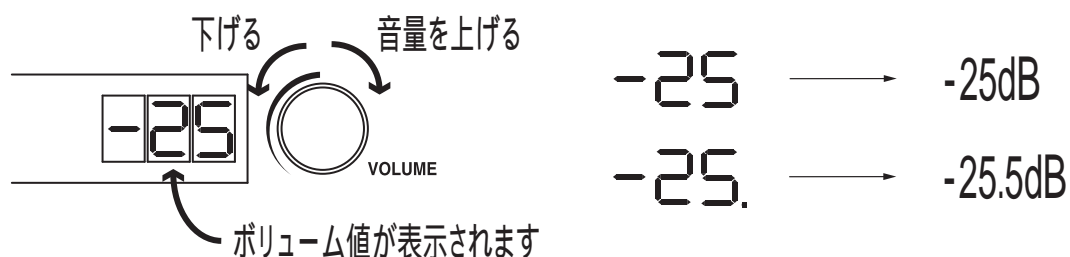
入力部ボリュームの表示はOUT1系統の音声クロスポイントの設定により切り替わります。
シリアルからの操作等で映像と音声のクロスポイントが異なる場合は、フロントパネルのOUT1系統のボタン表示と入力部ボリュームの表示が異なります。

つまみ操作によるボリューム値の調整

以上の操作を終了し、ボリューム調整つまみを左右にまわすとボリューム値を調整することができます。

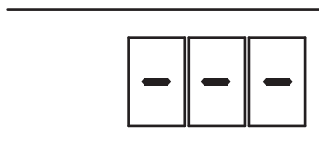
時計回りにまわすとボリュームが上がります、反時計回りにまわすとボリュームが下がります。

1クリック毎に0.5dBステップでボリューム値が変化します。ボリューム値はボリューム表示部にdB単位で表示します。また、小数点以下が0.5dBの場合はピリオドが点灯します。



ボリューム値の可変範囲はセレクト音声、ライン音声は - 30dB ~ + 10dB、マイク音声は + 10dB ~ + 50dBとなっています。

ボリュームが最低値になった時点で、さらにボリューム調整つまみ反時計回りに回転させると、下図のような表示になり、音声はミュートされます。



・出力部ボリュームの調整

出力部ボリュームの調整は以下の手順で行います。

ボリューム操作切替ボタンを消灯状態にしてください。(出力部ボリューム表示)

調整を行う出力、音声入力の選択

出力部ボリュームは各出力毎のセレクト音声、ライン音声、マイク音声の調整を行うことができます。

ボリューム調整つまみを押すと、

OUT1 - セレクト音声

OUT1 - ライン音声

OUT1 - マイク音声

OUT2 - セレクト音声

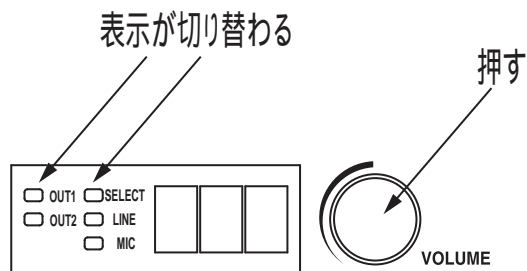
OUT2 - ライン音声

OUT2 - マイク音声

最初に戻る

と表示が切り替わるため、調整を行いたい出力/音声入力が表示されるまでボリューム調整つまみを押します。

また、DIPスイッチにより、セレクト、ライン、マイクの各音声を同時に制御することも可能です。詳しくは"5 .DIPスイッチの設定"を参照してください。



つまみ操作によるボリューム値の調整

入力部ボリュームの調整と同様にボリューム値の調整ができます。

ボリューム値の可変範囲は - 20dB ~ + 20dB までです。 - 20dB になった時点でさらにボリューム調整つまみを反時計回りに回転させると、音声がミュートされます。

また、DIPスイッチによりフロントパネルのボリューム表示を 0 ~ 80 の表示に切替えることができます。詳しくは"5 .DIPスイッチの設定"を参照してください。

4 - 5 .設定のリセット

本製品に設定した項目をリセットしたい場合は、OUT1のIN7とOFFボタンを同時に押しながら電源を立ち上げなおしてください。WEB運用画面、クロスポイント、クロスポイントメモリ、入力信号種類、ボリューム、ボリューム表示が出荷時の設定に戻ります。

OUT1のIN7とOFFボタンは、電源立ち上げ時からクロスポイントが表示されるまでの間押し続けてください。

登録コマンドは消去されません。

5 . DIPスイッチの設定

5 - 1 .DIPスイッチ M.SW1、M.SW2（本体設定用）

本体背面のDIPスイッチは各種の機能が割り当てられています。DIPスイッチを上を倒すことでオンとなります。本体を制御或いは設定する際に使用します。DIPスイッチ操作は、電源を切った状態で行ってください。

M.SW1

番号	機能	出荷時状態	
1	本体制御用通信速度設定	9600bps	オフ
2			オン
3	起動後のクロスポイント設定	電源遮断時のクロスポイント状態で起動	
4	WEBブラウザアクセス認証設定	アクセス認証有効	
5	リザーブ	-	
6	リザーブ	-	
7	リザーブ	-	
8	リザーブ	-	

M.SW2

番号	機能	出荷時状態	
1	メニューのみキーロック	キーロック無効	オフ
2	ボリュームキーロック	キーロック無効	オフ
3	クロスポイント切替ボタンをキーロック	キーロック無効	オフ
4	ボリュームつまみ押下操作キーロック	キーロック無効	オフ
5	出力部ボリューム連動設定	セレクト、ライン、マイク音声を連動設定	
6	オプションボタンをキーロック	キーロック無効	オフ
7	リザーブ	-	
8	出力ボリューム表示切替	-20 ~ 20dBの可変範囲を表示	

- ・本体制御用通信速度設定(M.SW1-1,2)

本体背面のRS232Cポート、RS422Aポートの通信速度を設定します。

	2400bps	4800bps	9600bps	19200bps
M.SW1-1	オフ	オン	オフ	オン
M.SW1-2	オフ	オフ	オン	オン

- ・起動後のクロスポイント設定(M.SW1-3)

オンに設定すると、電源立ち上げ時に、メモリ1にセーブしたクロスポイントをロードして起動します。オフに設定した場合は電源遮断時のクロスポイントで起動します。

- ・WEB運用画面アクセス認証設定(M.SW1-4)

オンに設定するとWEB運用画面の操作画面、設定画面の表示にアクセス認証が必要になります。オフに設定した場合は、認証をすることなく誰でもWEB運用画面の操作画面、設定画面を表示することが可能になります。

本製品はアクセス認証にダイジェスト認証を使用しています。ダイジェスト認証に対応したブラウザを使用してください。

- ・メニューのみキーロック (M.SW2-1)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"MENU" LEDが点灯し、フロントパネルのクロスポイント、ボリュームつまみ以外のボタンがキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

- ・ボリュームキーロック (M.SW2-2)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"VOL" LEDが点灯し、フロントパネルのボリュームつまみの機能がキーロックされ、フロントパネルからボリューム調整を行うことができなくなります。
解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

- ・クロスポイント切替ボタンをキーロック (M.SW2-3)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"CROSS POINT"LEDが点灯し、フロントパネルのクロスポイント切替ボタンがキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

- ・ボリュームつまみ押下操作をキーロック (M.SW2-4)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのボリュームつまみの押下操作がキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。

キーロックの一時的な解除に関して

一時的にキーロックを解除したい場合は、IN1-OUT1選択ボタンのみを押しながら電源を入れることにより、次回電源投入時まで全てのキーロックを解除することができます。

キーロックを一時的に解除する場合に、IN1-OUT1選択ボタン以外に他のフロントパネルのボタンが同時に押されていた場合、キーロックは解除されません。

- ・出力部ボリューム連動設定 (M.SW2-5)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、出力部ボリュームのSELECT、LINE、MICのLEDがすべて点灯し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声をすべて連動してボリュームつまみで制御することができます。この設定がオンのときにボリュームつまみを押し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声のLEDはすべて点灯したままで、OUT1、2のみ切り替わります。また、出力部ボリューム連動設定がオンの場合は、パラレル外部制御にて出力部ボリュームを制御することが可能です。
オフの場合はセレクト音声、ライン音声、マイク音声を個別に制御することができます。

個別設定から連動設定に変更した場合、セレクト音声、ライン音声、マイク音声のボリューム値はすべてセレクト音声のボリューム値に統一されます。

連動設定の場合、WEB運用画面には、LINE、MICボリュームは表示されません。
またコマンドも無効になります。

- ・ オプションボタンをキーロック (M.SW2-6)

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのオプションボタンがキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。

また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

- ・ 出力部ボリューム表示切替 (M.SW2-8)

フロントパネルの出力部ボリューム表示を0～80の目安表示に変更することができます。DIPスイッチがオンの時、0～80の目安表示になり、オフの時-20～20(dB)のdB表示になります。

5 - 2 .底面DIPスイッチ（CAT5出力設定用）

底面パネルを外すと各出力ごとにDIPスイッチがあり、その機能は以下の通りです。

C.SW

番号	機能	出荷時状態	
1	リザーブ	-	オフ
2	リザーブ	-	オフ
3	リザーブ	-	オフ
4	リザーブ	-	オフ
5	リザーブ	-	オフ
6	リザーブ	-	オフ
7	リザーブ	-	オフ
8	受信器設定	KE 0101CR-BF、KE 0101CR2対応	オフ

・受信器設定（C.SW-8）

受信器の種別に応じて設定してください。

受信器設定	動作
オン	受信器 KE 101CR-BXに対応
オフ	受信器 KE 0101CR-BF、KE 0101CR2に対応

各出力ごとに受信器設定を行うことができますので、それぞれの出力に異なったタイプの受信器を接続することができます。

ただし、同一出力内の2分配A,Bに関しては、同タイプの受信器しか接続できません。

DIPスイッチ操作は、電源を切った状態で行ってください。

DIPスイッチ以外のコネクタやスライドスイッチには触れないでください。
(スライドスイッチの出荷時設定は、DIPスイッチ側になっています。)

コマンド登録ソフト

本製品へのコマンド登録および出力ボーレート設定は、当社専用コマンド登録ソフトで行います。

出荷時の出力ボーレートは、"ボーレート:9600bps パリティ:なし" で登録されています。

登録ソフトをご希望の際は、当社営業部までご連絡ください。

東京営業：〒103-8433 東京都中央区日本橋本町3-4-14 TEL.(03)3279-7335 FAX.(03)3242-3170

大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185 FAX.(06)6204-6188

URL： <http://www.kowa.co.jp/i-master>

MAIL： i-master@kowa.co.jp

6 . シリアル外部制御

RS232C、RS422Aを接続することにより、本製品を外部機器より制御することが可能です。
シリアル外部制御時においては、クロスポイント操作、オプション操作、オーディオボリューム制御、状態読出し、各種設定等の操作が可能です。

6 - 1 . シリアルインターフェイスの設定

パソコン等で外部制御を行う場合は、パソコンを以下の設定にしてください。

通信速度	: 9600bps(工場出荷時設定)
データ長	: 8ビット
ストップビット長	: 1ビット
パリティチェック	: なし
フロー制御	: なし
通信方式	: 全2重

通信速度はDIPスイッチにより変更可能です。

詳しくは" 5 .DIPスイッチの設定"を参照してください。

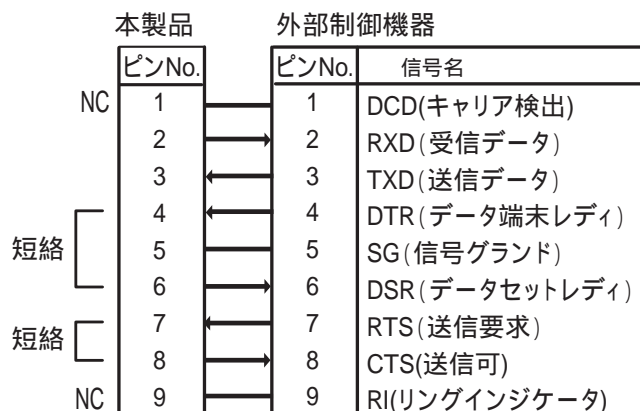
本製品のシリアルインターフェイス部は、それぞれ1024バイトのバッファを持っています。

制御コマンドはすべてバッファに格納され、先に入力されたコマンドから順に処理します。
処理速度が制御コマンドの入力速度に追いつかない場合はバッファがオーバーフローし、以後の制御コマンドは破棄されます。1つの制御コマンド処理時間は、登録コマンドの長さなどにより変わります。

6 - 2 .ケーブル結線

・RS232Cケーブル結線

本製品のRS232C（DSUB9ピン オス）のケーブル結線例を以下の図に示します。



4ピンと6ピン、7ピンと8ピンはそれぞれ内部で短絡されています。
1ピンと9ピンは未接続となっています。PC等とはストレートケーブルで接続可能です。

・RS422Aケーブル結線

本製品のRS422A（DSUB9ピン メス）のケーブル結線例を以下の図に示します。



6 - 3 .クロスポイント操作

シリアルコマンドにてクロスポイントを切り替える場合は、以下のコマンドを使用します。

- ・映像 & 音声を連動して切り替える場合

コマンド構造

送信	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR (リターン)	アンサーバック
受信	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR (リターン)	

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
OUT1	1	31H
OUT2	2	32H
NTSCOUT	n	6EH
OUTALL	r	72H

例 映像 & 音声のクロスポイントを IN2-OUT1 に設定する

キャラクタ表現	2	,	1	CR (リターン)
ASCII表現	32H	2CH	31H	0DH

IN5~8のモニター出力のコマンドを受け付けた場合は、音声のみ切り替わります。映像のクロスポイントは切り替わりません。また、IN5~8のOUTALLのコマンドを受け付けた場合は、モニター出力の映像のクロスポイントは切り替わりません。音声のクロスポイントのみ切り替わります。

・映像のみ切り替える場合

コマンド構造

送信	V	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR(リターン)	アンサーバック
受信	V	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR(リターン)	

入力CH、出力CHに入るコマンドは映像・音声連動時と同じです。

例 映像のクロスポイントをIN2-OUT1に設定する

キャラクタ表現	V	2	,	1	CR(リターン)
ASCII表現	56H	32H	2CH	31H	0DH

注意! IN5~8 モニター出力のコマンドは無効です。クロスポイントは切り替わりません。

・音声のみ切り替える場合

コマンド構造

送信	A	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR(リターン)	アンサーバック
受信	A	入力CH	, (カンマ)	出力CH	CR(リターン)	

入力CH、出力CHに入るコマンドは映像・音声連動時と同じです。

例 音声のクロスポイントをIN2-OUT1に設定する

キャラクタ表現	A	2	,	1	CR(リターン)
ASCII表現	41H	32H	2CH	31H	0DH

・連動動作

上記のクロスポイント操作コマンドは、コマンド間に"; (セミコロン)"を挿入することで、最大8つのコマンドを連動して処理することが可能です。ただし、コマンドの中に1つでも無効なコマンドがあった場合は、すべてのコマンドが処理されません。

例 IN1-OUT1、IN3-OUT2を同時に切り替えたい場合

キャラクタ表現	1	,	1	;
ASCII表現	31H	2CH	31H	3BH
キャラクタ表現	3	,	2	CR(リターン)
ASCII表現	33H	2CH	32H	0DH

6 - 4 . オプションボタンの操作

シリアルコマンドにてオプションボタンの操作を行う場合は、以下のコマンドを使用します。

コマンド構造

送信	オプション操作コマンド	:	出力ch	@	オプション番号指定	@	ON,OFF指定	CR(リターン)	
受信	オプション操作コマンド	:	出力ch	@	オプション番号指定	@	ON,OFF指定	CR(リターン)	アンサーバック

オプション操作コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
OPT	4FH 50H 54H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
OUT1	1	31H
OUT2	2	32H
OUTALL	r	72H

オプション番号指定に入るコマンド

オプション番号	キャラクタ	ASCIIコード
A	A	41H
B	B	42H
C	C	43H
D	D	44H
E	E	45H

ON、OFF指定に入るコマンド

ON、OFF指定	キャラクタ	ASCIIコード
OFF	0	30H
ON	1	31H

例 1 . OPTION_A-OUT2をONにする

キャラクタ表現	OPT	:	2	@	A	@	1	CR(リターン)
ASCII表現	4FH 50H 54H	3AH	32H	40H	41H	40H	31H	0DH

例 2 . OPTION_E-OUT1をOFFにする

キャラクタ表現	OPT	:	1	@	E	@	0	CR(リターン)
ASCII表現	4FH 50H 54H	3AH	31H	40H	45H	40H	30H	0DH

6 - 5 .セーブ/ロード操作

シリアルコマンドにてクロスポイントのセーブ/ロードを行う場合は以下のコマンドを使用します。

コマンド構造

送信	セーブ/ロード指定	:(コロン)	メモリバンク番号	CR(リターン)	
受信	セーブ/ロード指定	:(コロン)	メモリバンク番号	CR(リターン)	アンサーバック

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
セーブ	SAM	53H 41H 4DH
ロード	LOM	4CH 4FH 4DH

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
メモリ1	1	31H
メモリ2	2	32H
メモリ3	3	33H
メモリ4	4	34H
メモリ5	5	35H
メモリ6	6	36H
メモリ7	7	37H
メモリ8	8	38H

例 1 .メモリ1にクロスポイントを保存する

キャラクタ表現	SAM	:	1	CR(リターン)
ASCII表現	53H 41H 4DH	3AH	31H	0DH

2 .メモリ2からクロスポイントを読み出す

キャラクタ表現	LOM	:	2	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 4FH 4DH	3AH	32H	0DH

6 - 6 .音声ボリューム操作

シリアルコマンドにて音声ボリューム操作を行う場合は、以下のコマンドを使用します。

・入力部ボリュームの設定

セレクト音声、ライン音声は0.5dB単位で - 30 ~ + 10dBの範囲で調整が可能です。マイク音声は0.5dB単位で + 10dB ~ + 50dBの範囲で調整が可能です。それぞれ各入力毎に設定可能です。

コマンド構造

送信	ボリューム設定コマンド	:(コロン)	入力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	
受信	ボリューム設定コマンド	:(コロン)	入力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	アンサーバック

入力部ボリューム設定コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
SVI	53H 56H 49H

設定ボリューム指定コマンド

設定ボリューム指定	キャラクタ	ASCIIコード
セレクト音声	0	30H
ライン音声	1	31H
マイク音声	2	32H

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

セレクト/ライン音声ボリューム値指定

ボリューム値指定	キャラクタ	ASCIIコード
ボリュームを1dB上げる	P1	50H 31H
+10dB	80	38H 30H
+9.5dB	79	37H 39H
⋮	⋮	⋮
0dB	60	36H 30H
⋮	⋮	⋮
-29.5dB	01	30H 31H
-30dB	00	30H 30H
MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる	M1	4DH 31H

マイク音声ボリューム値指定

ボリューム値指定	キャラクタ	ASCIIコード
ボリュームを1dB上げる	P1	50H 31H
+50dB	80	38H 30H
+49.5dB	79	37H 39H
⋮	⋮	⋮
+10.5dB	01	30H 31H
+10dB	00	30H 30H
MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる	M1	4DH 31H

マイク音声ボリューム計算式

ボリューム値 = (設定したいボリューム値(dB) - 10) / 0.5

セレクト/ライン音声ボリューム計算式

ボリューム値 = (設定したいボリューム値(dB) + 30) / 0.5

例 IN3のセレクト音声を0dBに設定する

キャラクタ表現	SVI	:	3	@	0	@	60	CR(リターン)
ASCII表現	53H 56H 49H	3AH	33H	40H	30H	40H	36H 30H	0DH

・出力部ボリュームの設定

セレクト音声、ライン音声、マイク音声はそれぞれ0.5dB単位で - 20 ~ + 20dBの範囲で調整が可能です。出力毎に設定可能です。

コマンド構造

送信	ボリューム設定コマンド	:(コロン)	出力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	
受信	ボリューム設定コマンド	:(コロン)	出力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	アンサーバック

出力部ボリューム設定コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
SVO	53H 56H 4FH

設定ボリューム指定コマンド

設定ボリューム指定	キャラクタ	ASCIIコード
セレクト音声	0	30H
ライン音声	1	31H
マイク音声	2	32H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
OUT1	1	31H
OUT2	2	32H

セレクト/ライン/マイク音声ボリューム値指定

ボリューム値指定	キャラクタ	ASCIIコード
ボリュームを1dB上げる	P1	50H 31H
+20dB	80	38H 30H
+19.5dB	79	37H 39H
:	:	:
0dB	40	34H 30H
:	:	:
-19.5dB	01	30H 31H
-20dB	00	30H 30H
MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる	M1	4DH 31H

セレクト/ライン/マイク音声ボリューム計算式
 ボリューム値 = (設定したいボリューム値(dB)+20)/0.5

例 OUT2のセレクト音声を0dBに設定する

キャラクタ表現	SVO	:	2	@	0	@	40	CR(リターン)
ASCII表現	53H 56H 4FH	3AH	32H	40H	30H	40H	34H 30H	0DH

出力部ボリューム連動設定が有効になっている場合は、セレクトのボリューム変更のみ有効となります。

6 - 7 .状態読出しコマンド

シリアルコマンドにて本製品の状態を読み出す場合は、以下のコマンドを使用します。

・クロスポイントの読出し

コマンド構造

送信	映像音声状態読出コマンド	CR(リターン)
受信	映像音声状態読出コマンド	CR(リターン) アンサーバック

受信	V	;(コロン)	出力1映像選択ch	;(セミコロン)	出力2映像選択ch	;(セミコロン)	NTSCアウト映像選択ch	, (カンマ)	次段に続く
受信	A	;(コロン)	出力1音声選択ch	;(セミコロン)	出力2音声選択ch	;(セミコロン)	NTSCアウト音声選択ch	CR(リターン)	

送信	映像状態読出コマンド	CR(リターン)
受信	映像状態読出コマンド	CR(リターン) アンサーバック

受信	V	;(コロン)	出力1映像選択ch	;(セミコロン)	出力2映像選択ch	;(セミコロン)	NTSCアウト映像選択ch	CR(リターン)
----	---	--------	-----------	----------	-----------	----------	---------------	----------

送信	音声状態読出コマンド	CR(リターン)
受信	音声状態読出コマンド	CR(リターン) アンサーバック

受信	A	;(コロン)	出力1音声選択ch	;(セミコロン)	出力2音声選択ch	;(セミコロン)	NTSCアウト音声選択ch	CR(リターン)
----	---	--------	-----------	----------	-----------	----------	---------------	----------

状態読出コマンド

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
映像音声状態読出コマンド	XPM	58H 50H 4DH
映像状態読出コマンド	XPV	58H 50H 56H
音声状態読出コマンド	XPA	58H 50H 41H

各選択CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	001	30H 30H 31H
IN2	002	30H 30H 32H
IN3	003	30H 30H 33H
IN4	004	30H 30H 34H
IN5	005	30H 30H 35H
IN6	006	30H 30H 36H
IN7	007	30H 30H 37H
IN8	008	30H 30H 38H
INOFF	000	30H 30H 30H

例 1 .映像・音声のクロスポイントの状態を読み出す。(機種により異なる)
(IN3 OUT1、IN2 OUT2、IN3 モニター出力(映像音声共)の場合)

キャラクタ表現	XPM	CR(リターン)
ASCII表現	58H 50H 4DH	0DH

以下のコマンドが返信されます。

キャラクタ表現	XPM	CR(リターン)
ASCII表現	58H 50H 4DH	0DH

アンサーバック

キャラクタ表現	V	;	003	;	002	;	003	,	次段に続く
ASCII表現	56H	3AH	30H 30H 33H	3BH	30H 30H 32H	3BH	30H 30H 33H	2CH	
キャラクタ表現	A	;	003	;	002	;	003	CR(リターン)	
ASCII表現	41H	3AH	30H 30H 33H	3BH	30H 30H 32H	3BH	30H 30H 33H	0DH	

・音声ボリューム値の読出し

コマンド構造

送信	入力部ボリューム読出コマンド	:(コロン)	入力CH	CR(リターン)	
受信	入力部ボリューム読出コマンド	:(コロン)	入力CH	CR(リターン)	アンサーバック
受信	セレクト音声ボリューム値	;(セミコロン)	ライン音声ボリューム値	;(セミコロン)	マイク音声ボリューム値 CR(リターン)

送信	出力部ボリューム読出コマンド	:(コロン)	出力CH	CR(リターン)	
受信	出力部ボリューム読出コマンド	:(コロン)	出力CH	CR(リターン)	アンサーバック
受信	セレクト音声ボリューム値	;(セミコロン)	ライン音声ボリューム値	;(セミコロン)	マイク音声ボリューム値 CR(リターン)

ボリューム読出コマンド

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
入力ボリューム読出コマンド	LVI	4CH 56H 49H
出力ボリューム読出コマンド	LVO	4CH 56H 4FH

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
OUT1	1	31H
OUT2	2	32H

入力ボリューム読み取り時
セレクト音声、ライン音声

読取ったボリューム値指定	ASCIIコード	ボリューム値指定
80	38H 30H	+10dB
79	37H 39H	+9.5dB
⋮	⋮	⋮
60	36H 30H	0dB
⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	-29.5dB
00	30H 30H	-30dB
MT	4DH 54H	MUTE

セレクト/ライン音声ボリューム計算式
 ボリューム値(dB) = (読取ったボリューム値 - 60) × 0.5

出力ボリューム読み取り時
セレクト音声、ライン音声、マイク音声

読取ったボリューム値指定	ASCIIコード	ボリューム値指定
80	38H 30H	+20dB
79	37H 39H	+19.5dB
⋮	⋮	⋮
40	34H 30H	0dB
⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	-19.5dB
00	30H 30H	-20dB
MT	4DH 54H	MUTE

音声ボリューム計算式
 ボリューム値(dB) = (読取ったボリューム値 - 40) × 0.5

マイク音声

読取ったボリューム値指定	ASCIIコード	ボリューム値指定
80	38H 30H	+50dB
79	38H 30H	+49.5dB
⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	+10.5dB
00	30H 30H	+10dB
MT	4DH 54H	MUTE

マイク音声ボリューム計算式
 ボリューム値(dB) = (読取ったボリューム値 + 20) × 0.5

入力部ボリューム読出しにおいて、IN OFFの読出し時のセレクト音声値は常にミュートとなります。

- 例 1 . IN4の入力部ボリュームを読み出す
 (IN4のボリュームがセレクト音声0dB、ライン音声+10dB、マイク音声ミュートのとき)

キャラクタ表現	LVI	:	4	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 56H 49H	3AH	34H	0DH

以下のコマンドが返信されます。

キャラクタ表現	LVI	:	4	CR(リターン)		
ASCII表現	4CH 56H 49H	3AH	34H	0DH	アンサーバック	
キャラクタ表現	60	;	80	;	MT	CR(リターン)
ASCII表現	36H 30H	3BH	38H 30H	3BH	4DH 54H	0DH

- 2 . OUT2の出力部ボリュームを読み出す
 (OUT2のボリュームがセレクト音声0dB、ライン音声0dB、マイク音声-20dBのとき)

キャラクタ表現	LVO	:	2	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 56H 4FH	3AH	32H	0DH

以下のコマンドが返信されます。

キャラクタ表現	LVO	:	2	CR(リターン)		
ASCII表現	4CH 56H 4FH	3AH	32H	0DH	アンサーバック	
キャラクタ表現	40	;	40	;	00	CR(リターン)
ASCII表現	34H 30H	3BH	34H 30H	3BH	30H 30H	0DH

6 - 8 . IP設定コマンド

シリアルコマンドにてIP関連の設定を行う場合は、以下のコマンドを使用します。

IP設定コマンドは再起動後に有効になります。

・ IPアドレスの設定

コマンド構造

送信	IPアドレス設定コマンド	:(コロン)	IP設定アドレス	.(ピリオド)	IP設定アドレス	,	IP設定アドレス	,	IP設定アドレス	,	CR(リターン)	
受信	IPアドレス設定コマンド	:(コロン)	IP設定アドレス	.(ピリオド)	IP設定アドレス	,	IP設定アドレス	,	IP設定アドレス	,	0DH	アンサーバック

IPアドレス設定コマンド

キャラクタ表現	SET:IPA
ASCII表現	53H 45H 54H 3AH 49H 50H 41H

4桁のIPアドレスには0～255までの数値を入れます。

例 IPアドレスを20.60.30.255に設定する

キャラクタ表現	SET:IPA	:	20	,	60	,	30	,	255	CR(リターン)
受信	53H 45H 54H 3AH 49H 50H 41H	3AH	32H 30H	2EH	36H 30H	2EH	33H 30H	2EH	32H 35H 35H	0DH

・ サブネットマスクの設定

コマンド構造

送信	サブネットマスク設定コマンド	:(コロン)	サブネットマスク	.(ピリオド)	サブネットマスク	,	サブネットマスク	,	サブネットマスク	,	CR(リターン)	
受信	サブネットマスク設定コマンド	:(コロン)	サブネットマスク	.(ピリオド)	サブネットマスク	,	サブネットマスク	,	サブネットマスク	,	0DH	アンサーバック

サブネットマスク設定コマンド

キャラクタ表現	ASCIIコード
SET:SNM	53H 45H 54H 3AH 53H 4EH 4DH

4桁のサブネットマスクには0～255までの数値を入れます。

例 サブネットマスクを255.255.0.0に設定する

キャラクタ表現	SET:SNM	:	255	,	255	,	0	,	0	CR(リターン)
受信	53H 45H 54H 3AH 53H 4EH 4DH	3AH	32H 35H 35H	2EH	32H 35H 35H	2EH	30H	2EH	30H	0DH

・TCP/IPポートの設定

コマンド構造

送信	ポート設定コマンド	:(コロン)	ポート番号	CR(リターン)
受信	ポート設定コマンド	:(コロン)	ポート番号	CR(リターン)

ポート設定コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
SET:PRT	53H 45H 54H 3AH 50H 52H 54H

TCP/IPポートは1024～65535の間で設定可能です。

例 TCP/IPポートを50000に設定する。

キャラクタ表現	SET:PRT	:(コロン)	50000	CR(リターン)
ASCII表現	53H 45H 54H 3AH 50H 52H 54H	3AH	35H 30H 30H 30H 30H	0DH

・IP設定の読出し

コマンド構造

送信	設定読出しコマンド	CR(リターン)
受信	設定読出しコマンド	CR(リターン)

受信	IP	:(コロン)	IP設定アドレス	.(ピリオド)	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	CR(リターン)
受信	SM	:(コロン)	サブネットマスク	.(ピリオド)	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	CR(リターン)

受信	PORT	:(コロン)	ポート番号	CR(リターン)
----	------	--------	-------	----------

受信	MAC	:(コロン)	MACアドレス	-(ハイフン)	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	CR(リターン)
----	-----	--------	---------	---------	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	----------

設定読出しコマンド

キャラクタ	ASCIIコード
GET:IPS	47H 45H 54H 3AH 49H 50H 53H

IP設定の読出しは、次回起動される際に設定される設定値を読み出します。したがってIP設定を変更し、再起動を行わずにIP設定の読出しを行いますと、実際に動作している設定値と読み出された設定値が異なる場合があります。

6 - 9 . ビジーアンサー

本製品には受信したコマンドを実行できない状態があります。このときコマンドを受信すると処理は行われず、以下のようにアンサーバックとして返します。

・ オプションボタンの操作及びクロスポイント操作ボタン点滅中

本製品はオプション及びクロスポイントボタン点滅中は、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のようにアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:CAT	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 43H 41H 54H	0DH

・ セーブボタン点灯中

本製品はセーブボタン点灯中、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のようにアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:SAV	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 53H 41H 56H	0DH

・ ロードボタン点灯中

本製品はロードボタン点灯中、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のようにアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:LOD	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 4CH 4FH 44H	0DH

7. パラレル外部制御

本製品はパラレルポートからクロスポイント操作、オプション操作、クロスポイントのロードの制御を行うことが可能です。

7-1. ピンアサイン

パラレルリモートコネクタ

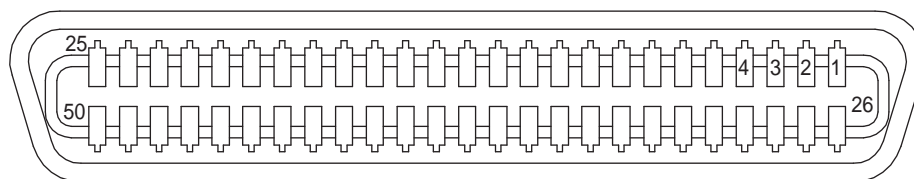
ピン	機能	ピン	機能
1	IN1 OUT1	26	RESERVE
2	IN2 OUT1	27	RESERVE
3	IN3 OUT1	28	IN1 NTSCOUT
4	IN4 OUT1	29	IN2 NTSCOUT
5	IN5 OUT1	30	IN3 NTSCOUT
6	IN6 OUT1	31	IN4 NTSCOUT
7	IN7 OUT1	32	OFF NTSCOUT
8	IN8 OUT1	33	OPTION_A OUT1
9	OFF OUT1	34	OPTION_B OUT1
10	IN1 OUT2	35	OPTION_C OUT1
11	IN2 OUT2	36	OPTION_D OUT1
12	IN3 OUT2	37	OPTION_E OUT1
13	IN4 OUT2	38	OPTION_A OUT2
14	IN5 OUT2	39	OPTION_B OUT2
15	IN6 OUT2	40	OPTION_C OUT2
16	IN7 OUT2	41	OPTION_D OUT2
17	IN8 OUT2	42	OPTION_E OUT2
18	OFF OUT2	43	RESERVE
19	RESERVE	44	RESERVE
20	RESERVE	45	RESERVE
21	RESERVE	46	RESERVE
22	RESERVE	47	RESERVE
23	RESERVE	48	LOAD
24	RESERVE	49	+5V
25	RESERVE	50	GND

タリ-アウトコネクタ

ピン	機能	ピン	機能
1	IN1 OUT1	26	RESERVE
2	IN2 OUT1	27	RESERVE
3	IN3 OUT1	28	IN1 NTSCOUT
4	IN4 OUT1	29	IN2 NTSCOUT
5	IN5 OUT1	30	IN3 NTSCOUT
6	IN6 OUT1	31	IN4 NTSCOUT
7	IN7 OUT1	32	OFF NTSCOUT
8	IN8 OUT1	33	OPTION_A OUT1
9	OFF OUT1	34	OPTION_B OUT1
10	IN1 OUT2	35	OPTION_C OUT1
11	IN2 OUT2	36	OPTION_D OUT1
12	IN3 OUT2	37	OPTION_E OUT1
13	IN4 OUT2	38	OPTION_A OUT2
14	IN5 OUT2	39	OPTION_B OUT2
15	IN6 OUT2	40	OPTION_C OUT2
16	IN7 OUT2	41	OPTION_D OUT2
17	IN8 OUT2	42	OPTION_E OUT2
18	OFF OUT2	43	RESERVE
19	RESERVE	44	RESERVE
20	RESERVE	45	RESERVE
21	RESERVE	46	RESERVE
22	RESERVE	47	RESERVE
23	RESERVE	48	LOAD
24	RESERVE	49	+5V
25	RESERVE	50	GND

RESERVEには何も接続しないでください。

7 - 2 .コネクタピン配置

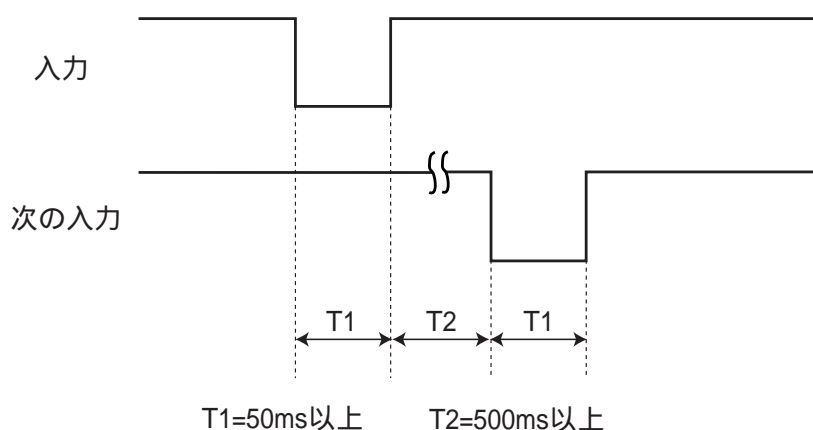


適合プラグ 第一電子工業(株)(DDK) 57- 30500

7 - 3 .使用方法

パラレルインターフェイスにより操作を行う場合は、希望する接点をモーメンタリースイッチ(ノンロック)または、トランジスタのオープンコレクタ等による無電圧接点を使用して制御してください。

制御を行う場合は以下の図に示すようなパルス幅で入力してください。ただし、異なる出力段の入力は同時にパラレルリモート入力を受け付けることが可能です。



パルス間隔T2は、登録コマンド長などにより変わります。

タリー出力はオープンコレクタ(TD62083：東芝セミコンダクター(株))で出力しています。最大電圧は45V、最大負荷電流は60mA以下としてください。それを超えると故障の原因になります。LEDを点灯させる際は直接使用するのではなく、使用するLEDにより抵抗を介し電流制限してください。また、本製品の5V出力を使用する場合は、取り出す電流の合計値を500mA以下としてください。本製品で使用しているオープンコレクタ回路は、0～60mAの間で0.6～0.8V程度のVce(sat)が発生します。また、本製品のタリー出力回路には100Ωの保護抵抗が内蔵されています。これらを考慮して電流制限抵抗の値を決めてください。

例 5Vの電源電圧を使用し、LEDに15mAの電流を流したい場合の電流制限抵抗の求め方
ただし、ダイオードによる電圧降下は2.0Vとする

$$5V(\text{電源電圧}) = 2.0V(\text{ダイオード順電圧}) + \{R(\text{制限抵抗}) + 100 \text{ (保護抵抗)}\} \times 0.015A + 0.7V$$

8 . LANによる外部制御

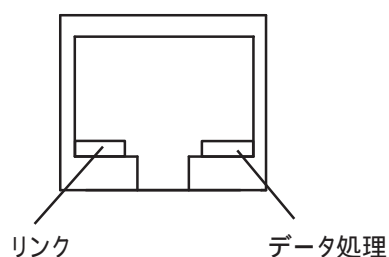
本製品はLANにより外部制御を行うことが可能です。

8 - 1 .特徴

- ・ 10BASE - T/100BASE - TXによる通信が可能（自動認識）
- ・ 全二重/半二重による通信が可能（自動認識）
- ・ TCP/IPで制御が可能（同時に4コネクションまで）
- ・ WEB運用画面からの制御が可能
- ・ WEB運用画面の操作画面をカスタマイズすることが可能

8 - 2 .コネクタ部LED

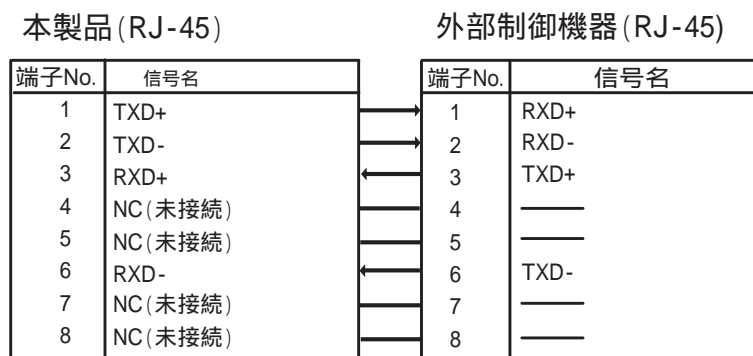
本製品のLANコネクタ部のLEDには以下に示す機能が割り当てられています。



8 - 3 .ケーブル結線

本製品のケーブルの結線図を以下に示します。

本製品とPC等を直接接続する場合はクロスケーブルで接続してください。ハブ等を介して接続する場合はストレートケーブルで接続してください。



⚠ 注意! ネットワーク機器以外とは接続しないでください。故障の原因となります。

8 - 4 .IPアドレス、TCP/IPポート、MACアドレス

工場出荷時のIPアドレス、サブネットマスク、ポート設定については、"1 - 2 .出荷時の設定"を参照してください。設定はシリアル、LANにて変更可能です。

詳しくは"6 - 8 .IP設定コマンド"、或いは"8 - 7 .WEB設定画面の表示"を参照してください。

また、TCP/IPポートの設定範囲は1024~65535となっております。

MACアドレスは以下に示す設定となっております。下位3バイトは製品1台毎に異なる値が設定されています。

MACアドレス 00 - 05 - 5C - XX - XX - XX

MACアドレスはシリアル、LANにて値を読み出すことが可能です。

詳しくは"6 - 8 .IP設定コマンド"、"8 - 5 .TCP/IP接続による外部制御"を参照してください。

MACアドレスは変更できません。

8 - 5 .TCP/IP接続による外部制御

本製品に設定したIPアドレス、ポート番号にTELNETクライアント等で接続し、以下のログインコマンドを送信しますと、本製品の制御が可能になります。
ログインするまではログインコマンド以外のコマンドを受け付けません。
工場出荷時に設定されているパスワードについては、"1 - 2 .出荷時の設定"を参照してください。

コマンド構造

送信	ログインコマンド	:(コロン)	現在のパスワード	CR(リターン)
受信	ログイン確認コマンド	CR(リターン)		

キャラクタ	ASCIIコード
TCP:LGI	54H 43H 50H 3AH 4CH 47H 49H

キャラクタ	ASCIIコード
OK	4FH 4BH
NG	4EH 47H

ログインできた場合

ログインできなかった場合

ログイン後は、RS232C、RS422Aと同じコマンドが実行可能です。以下のログアウトコマンドを送信しますと、本製品の制御からログアウトし、ログイン前の状態に戻ります。

コマンド構造

送信	ログアウトコマンド	CR(リターン)
受信	ログアウトコマンド	CR(リターン)

キャラクタ	ASCIIコード
TCP:LGO	54H 43H 50H 3AH 4CH 47H 4FH

パスワードを変更する場合は以下のコマンドを使用します。パスワードは半角英数8文字以内としてください。記号は使用できません。

コマンド構造

送信	パスワード変更コマンド	:(コロン)	現在のパスワード	:(コロン)	新しいパスワード	:(コロン)	新しいパスワード	CR(リターン)
受信	パスワード変更確認コマンド	CR(リターン)						

キャラクタ	ASCIIコード
TCP:CHP	54H 43H 50H 3AH 43H 48H 50H

キャラクタ	ASCIIコード
OK	4FH 4BH
NG	4EH 47H

パスワードが変更できた場合

パスワードが変更できなかった場合

TCP/IPでの接続は同時に4コネクションまでとなっております。

本体背面のDIPスイッチにて旧製品と互換性のあるシリアルコマンドを使用する設定にした場合は、TCP/IPのコマンドも互換性のあるコマンドに変更されます。

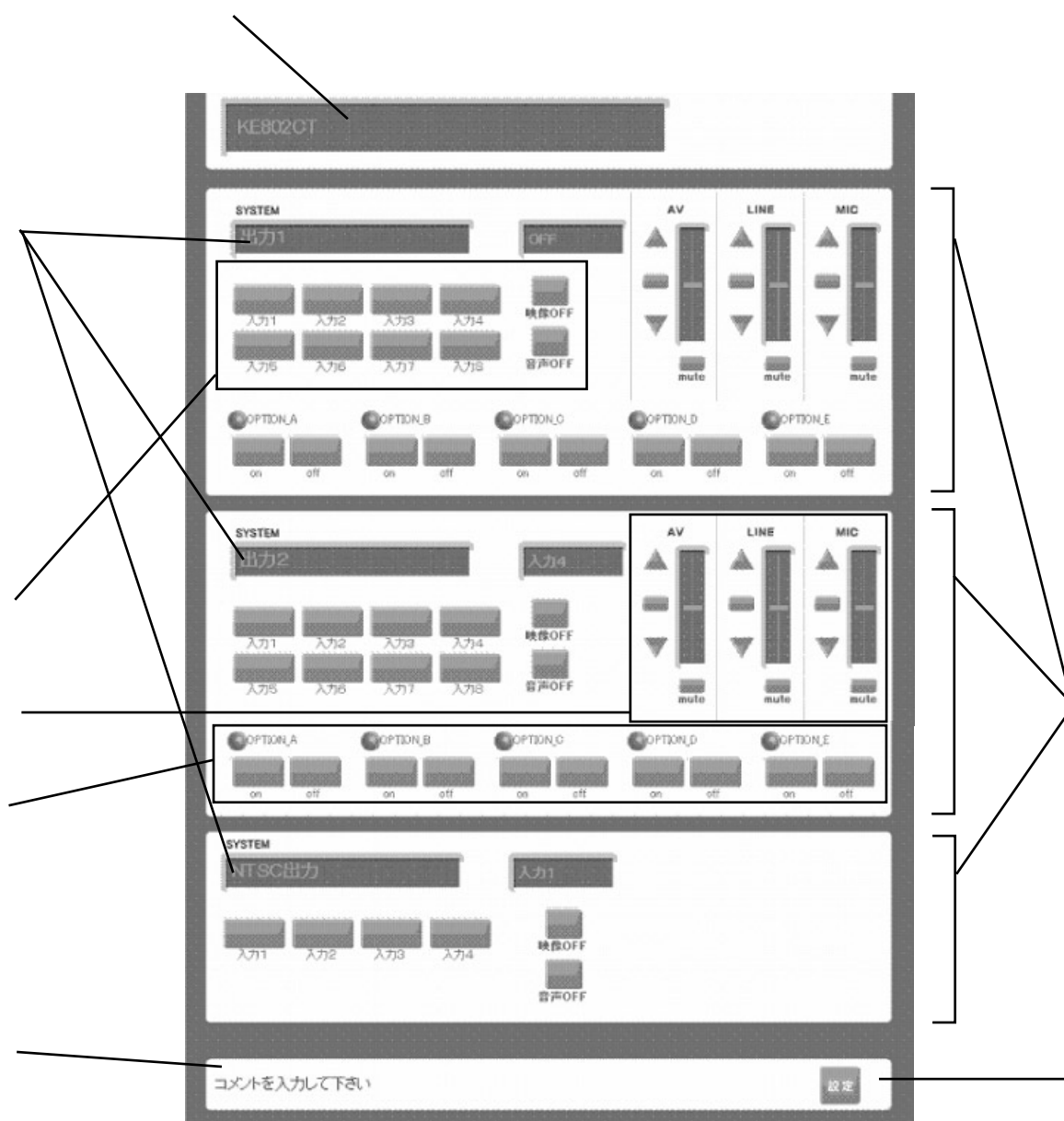
パスワードを忘れてしまった場合は、当社営業部までお問い合わせください。

8 - 6 .WEB運用画面の表示

本製品のIPアドレスに対し、WEBブラウザでアクセスすると以下のWEB運用画面が表示され、本製品の制御が可能になります。

WEBブラウザでアクセスする際は、ブラウザのアドレスバーに"HTTP://XX.XX.XX.XX"と打ち込んでください。XX.XX.XX.XXは本製品のIPアドレスです。WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、初回アクセス時にパスワードを要求されますので、パスワード欄に設定されているパスワードを入力してください。ユーザー名では認証を行っていないため、ユーザー名は入力しなくても問題ありません。

工場出荷時のパスワードについては、"1 - 2 .出荷時の設定"を参照してください。



システム名

使用する部屋やシステムの名称を表示します。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

OUT1、2、モニター出力制御領域

本製品のクロスポイント操作、オプション操作、音声ボリュームの操作が行えます。WEB設定画面で各出力毎に表示/非表示の設定が可能です。

モニター用音声信号出力にはミキシング及びボリューム調整機能はありません。

OUT1、2、モニター出力接続機器名称

各出力に接続される機器の名称を表示します。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

入力選択ボタン

各出力に対する入力を選択するボタンです。WEB設定画面でボタンの名称をカスタマイズ可能です。

ボリューム制御部

出力部ボリュームの制御が2dB単位で可能です。" ▲ " " ▼ " で音量の調整ができ、" ■ " で中間値への設定、"  " で音声のミュートが可能です。WEB設定画面でAV、LINE、MIC毎に表示/非表示の設定が可能です。

ボリューム連動設定をしている場合は、LINE、MICボリュームは表示されません。
また、コマンドも無効になります。

オプション操作ボタン

各出力に対するオプションを操作するボタンです。WEB設定画面でボタンの名称をカスタマイズ可能です。当社専用コマンド登録ソフトにて、オルタネート、モーメンタリ設定が可能です。オルタネート設定時にONボタンを押下すると、ボタン名称の横のランプが赤色に点灯します。モーメンタリ設定時にONボタンを押下しても、ランプは点灯しません。なお、モーメンタリー設定時にはOFFボタンは表示されません。

コメント表示部

コメントを表示することが可能です。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

設定画面へのジャンプボタン

WEB設定画面へ移動します。WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、WEB設定画面を開く際、別途パスワードの入力が必要です。
(WEB設定画面とWEB運用画面のパスワードを同じにすることでパスワードの入力を無くすことができます。)

WEB運用画面とWEB設定画面のパスワードを同じにした場合、設定画面へのジャンプボタンを押したときにパスワード入力のダイアログボックスは表示されません。

8 - 7 .WEB設定画面の表示

WEB運用画面の"設定画面へのジャンプボタン"をクリックすると以下の画面が表示され、WEB運用画面のカスタマイズが可能になります。
 WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、初回アクセス時にパスワードを要求されますので、パスワード欄に設定されているパスワードを入力してください。ユーザー名では認証を行っていないため、ユーザー名は入力しなくても問題ありません。

工場出荷時のパスワードについては、"1 - 2 .出荷時の設定"を参照してください。

設定

表示設定

システム名	KE802CT (KE802CT)		
OUT1接続機器名	出力1 (出力1)		
OUT2接続機器名	出力2 (出力2)		
NTSC出力機器名	NTSC出力 (NTSC出力)		
制御ボタン表示	OUT1 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	OUT2 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	NTSCOUT <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
OUT1ボリューム表示	AV機器 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	ライン音声 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	マイク音声 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
OUT2ボリューム表示	AV機器 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	ライン音声 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	マイク音声 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
画面の自動更新	none		

ボタン名と入力音量レベル調整(dB)の設定

ボタン名	AV機器	ライン音声	マイク音声
IN1 入力1 (入力1)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN2 入力2 (入力2)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN3 入力3 (入力3)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN4 入力4 (入力4)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN5 入力5 (入力5)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN6 入力6 (入力6)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN7 入力7 (入力7)	0 (0)	0 (0)	- (-)
IN8 入力8 (入力8)	0 (0)	0 (0)	- (-)
OFF -	-	0 (0)	- (-)

オプションの設定

OUT1	オプション名	ON	OFF
オプションA	<input type="text" value="OPTION_A"/> (OPTION_A)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションB	<input type="text" value="OPTION_B"/> (OPTION_B)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションC	<input type="text" value="OPTION_C"/> (OPTION_C)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションD	<input type="text" value="OPTION_D"/> (OPTION_D)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションE	<input type="text" value="OPTION_E"/> (OPTION_E)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
OUT2	オプション名	ON	OFF
オプションA	<input type="text" value="OPTION_A"/> (OPTION_A)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションB	<input type="text" value="OPTION_B"/> (OPTION_B)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションC	<input type="text" value="OPTION_C"/> (OPTION_C)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションD	<input type="text" value="OPTION_D"/> (OPTION_D)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)
オプションE	<input type="text" value="OPTION_E"/> (OPTION_E)	<input type="text" value="on"/> (on)	<input type="text" value="off"/> (off)

コメントの入力

コメント欄	<input type="text" value="コメントを入力して下さい"/> (コメントを入力して下さい)
-------	---

IP 設定		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
MACアドレス	00-05-5C-00-00-00		
IPアドレス	10 (10)	50 (50)	13 (13) 63 (63)
サブネットマスク	255 (255)	255 (255)	255 (255) 0 (0)
ポート番号	49152 (49152)		

設定画面パスワード変更		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
新しいパスワード	<input type="password"/>		
再入力	<input type="password"/>		

運用画面パスワード変更		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
新しいパスワード	<input type="password"/>		
再入力	<input type="password"/>		

スイッチャー再起動

<http://www.kowa.co.jp/i-master/>
 ? HELP ✉ i-master@kowa.co.jp

システム名称

使用する部屋やシステムの名称を入力します。全角20文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は40文字まで入力可能です。

OUT1、2接続機器名称

本製品の各出力に接続される機器の名称を入力します。全角10文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は20文字まで入力可能です。

制御ボタン表示

各出力の制御領域の表示/非表示を設定します。

ボリューム表示設定

各出力のボリュームの表示/非表示を設定します。

画面の更新設定

WEB運用画面の自動更新の設定を行います。

入力選択ボタン名称

入力機器の名称を入力します。全角6文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は12文字まで入力可能です。

ボタン名に何も入力しない場合や、半角スペースのみの場合はボタン名がデフォルト("入力1"等)に戻ります。ボタン名に何も表示させたくない場合は全角スペースを挿入してください。

入力部ボリューム設定

各入力の入力部ボリュームの設定を行います。0.5dB単位で設定が可能です。半角英数字を入力してください。

例 5dBに設定する場合	"5"と入力
- 10.5dBに設定する場合	"-10.5"と入力
ミュートしたい場合	"MUTE"または"- "と入力

入力部ボリュームに何も入力しない場合はデフォルト値{AV機器：0 ライン音声：0
マイク音声：-(MUTE)}に戻ってしまいます。

オプションボタン名称

オプションボタンの名称を入力します。全角10文字の入力制限があります。
ただし、半角の場合は20文字まで入力可能です。

オプション設定名称

オプションボタンに登録したコマンドの名称を入力します。全角5文字の入力制限があります。
ただし、半角の場合は10文字まで入力可能です。

コメント入力部

操作画面下のコメント表示部に表示するコメントを入力します。全角64文字まで入力可能です。

設定ボタン

クリックすると、 ~ で入力した項目の設定を行い、変更後の設定を入力ボックスの下
または右隣に表示します。

IP設定変更

IPアドレス、サブネットマスク、TCP/IPポートの変更が可能です。半角数字で入力してください。
"変更ボタン"をクリックすると、入力した数値を読み込み、変更後の値を入力ボックスの
右隣に表示します。

IP設定の変更は本製品再起動後に反映されます。

パスワード変更

WEB運用画面パスワード、WEB設定画面パスワードの変更が可能です。パスワードは半角英数字
で8文字以内としてください。記号は使用できません。

またWEB運用画面、WEB設定画面のパスワードを同じにすることでWEB設定画面に移動する際の
パスワード入力を無くすことができます。

パスワードを忘れてしまった場合は、当社営業部までご連絡ください。

WEB運用画面とWEB設定画面のパスワードを同じにした場合、設定画面へのジャンプボタンを
押したときにパスワード入力のダイアログボックスは表示されません。

再起動ボタン

このボタンをクリックすると、本製品が再起動されます。

各種リンク

当社製品関連ホームページ、メールアドレスへのリンク、WEB運用画面の操作方法説明ページへの
リンクです。

9 . 主な仕様

型名		KE802CT
入力チャンネル数	RGB : 4CH NTSC : 4CH	
出力チャンネル数	音声 : 8CH(ステレオ) ライン音声 : 1CH(ステレオ) マイク音声 : 2CH(モノラル)	
入出力コネクタ	CAT5 : 2CH RGB : 2CH NTSC : 3CH 1 音声 : 3CH(ステレオ) 2	
映像入力信号	映像 : BNC IN1-8・ライン音声 : RCAピンジャック マイク音声 : XLR-3-31、6.3mmTRSフォンジャック	
映像入力信号	アナログRGB R,G,B : 1.0Vp-p 75 HD,VD : 1~4Vp-p 75	
映像帯域	NTSCコンポジット 1.0Vp-p 75	
音声入力信号	40Hz~100MHz ±3dB	
音声出力信号	IN1-8・ライン入力 : -10dBu 47k マイク入力 : -60dBu 10K	
音声レベル可変範囲	出力 : -10dBu 負荷10k 以上	
外部制御	RS-232C	IN1-8・ライン入力 : 20Hz~20kHz ±1dB マイク入力 : 300Hz~5kHz ±2dB
	RS-422A	入力部 IN1-8・ライン入力 : -30dB~+10dB 0.5dBステップ マイク入力 : +10dB~+50dB 0.5dBステップ
外部制御	パラレルI/O	出力部 -20dB~+20dB 0.5dBステップ
外部制御	LAN(TCP/IP)	1系統 DSUB9ピン(インチネジ) オス
使用温湿度条件	アンフェノール50P メス×2	
電源電圧	RJ-45コネクタ	
消費電力	温度 : 0~40 湿度:20~80%(結露しないこと)	
外形寸法	AC100V ±10% 50/60Hz	
質量	約25W	
付属品	W422mm×D300mm×H132mm(3U)	
	約7kg	
	ラックマウント金具、取扱説明書、ACケーブル、保証書	

1 NTSC出力(映像)の1CHはIN1~4から選択

2 NTSC出力(音声)はレベル可変不可(ボリューム設定はできません)

 興和株式会社 電機光学事業部

東京営業：〒103-8433 東京都中央区日本橋本町3-4-14 TEL.(03)5623-8078 FAX.(03)5623-8070

大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185 FAX.(06)6204-6188